

富樫氏の略年表

‘14-4-19

- 治承元年 (1176) 1 2 代泰家 加賀介 近藤師経と乱暴
(1177) 1 1 代家直 謹慎
- 寿永二年 (1183) 源義仲へ加担し、泰家が越前ひうち城へ
平家軍に敗れ退却。義仲とともに京都へ攻めのぼる
- 文治元年 (1185) 鎌倉幕府の有力御家人を介して源氏への忠誠を訴える
後に泰家は出家し、仏誓と名乗る。一時奥州へ
- 承久三年 (1221) 承久の乱で後鳥羽上皇側、鎌倉に敗れる。家春、越中で倒幕軍にわるも敗戦。北条朝時(泰
時の弟)が加賀、越中などの守護に
- 弘長元年 (1261) 1 4 代家尚 大乘寺を創建
- 正応二年 (1289) 徹通が大乘寺へ、 1 3 0 9 年 9 1 歳で没す
- 元享元年 (1321) 「白山宮荘殿記」に泰明・家明が加賀の守護と明記
- 元徳元年 (1329) 家尚死去、1 5 代泰明
- 元弘三年 (1333) 北条高時が自殺
- 建武三年 (1336) 尊氏・直義兄弟が京へ
1 7 代高家のおじが尊氏方で前年、石動山の戦いで死亡。
足利尊氏に従った高家は菊池氏との戦いに参加。
- 正平六年 (1351) 尊氏と直義の戦闘で高家は戦死、1 8 代氏春に
- 延文三年 (1358) 尊氏死去、この頃氏春も死去、1 9 代昌家(氏春長男)に
- 応安元年 (1368) 桃井(越中)に対し越中守護斯波義将と力を合わせ対抗。
- 元中四年 (1387) 斯波義種(義将の弟)が加賀の守護に、昌家は病没。
- 明德二年 (1391) 山名氏清の反乱で富樫詮親(3 9 歳)で敗死。以後 27 年間、富樫は守護職から追放され
る。
- 応永六年 (1399) 大内義弘反乱。2 1 代富樫満家が将軍側につき1 1 月堺で戦死
- 応永 15 年 (1408) 加賀の守護斯波義種が死去、その子満種が継ぐ
- 応永 21 年 (1414) 斯波満種が将軍義持の怒りを買い、富樫満成(16 代家明のひ孫)満春(満家の子)の兄
弟が加賀半国の守護に
- 応永 25 年 (1418) 富樫満成が失脚、後に暗殺される。満春に満成の領地加えらる
- 応永 33 年 (1426) 5 月 13 日、将軍義持、富樫の屋敷で風呂の縁からころがり落ちて、左頬にかすり傷を受く
(「満濟准后日記」)
- 応永 34 年 (1427) 6 月満春死去、その子持春(15 歳)が加賀の守護に
- 永享五年 (1433) 7 月持春(21 歳)死去。弟教家が継ぐ
- 嘉吉元年 (1441) 6 月 18 日教家解任、泰高と守護を交代。
6 月 2 4 日将軍義教が犬死。
- 文安四年 (1447) 教家・泰高和睦し南北の半国守護制とし、北は教家の子成春に
- 長祿二年 (1458) 北加賀守護に赤松政則
- 寛正三年 (1462) 24 代政親、8 歳で富樫の跡をつぐ。
- 文明六年 (1474) 政親と幸千代(弟)がそれぞれ一向宗・専修寺と結んで戦う
- 長享二年 (1488) 六月、高尾城で政親が自刃